



取扱説明書

ver.4.1.11

はじめに

このたびは、「MIRACLE VISUAL STATION」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「MIRACLE VISUAL STATION」は、コンテンツの作成から再生まで行えるデジタルサイネージ製品です。

Linuxベースのデジタルサイネージプレイヤーを最大限に活用できるように開発されており、従来の製品と比べて低価格で、安定した動作を実現しました。

本書は、「MIRACLE VISUAL STATION」が持つ機能を有効に活用いただけるように構成しました。機能の概要をはじめ、各設定画面、使用上の注意、操作画面の手順などを説明しています。

なお、本書は以下のバージョンに対応しております。

HW・SW	バージョン
MVSプレイヤー	Embedded MIRACLE Digital Signage Edition 4.1.10 / 4.1.11
EMPopMaker	2.7.09 / 2.7.10 / 2.7.11

お読みいただく際の注意

- 画面および操作手順は、予告なく変更されることがあります。
- Linux®は、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。会社名、商品名等は各社の商標または登録商標です。

マークの説明



特に注意していただきたい内容です。



説明に対して補足的な内容です。



「EMPopMaker」における操作方法についての内容です。
「EMPopMaker」については、「[1.2 MIRACLE VISUAL STATIONの構成](#) (9ページ) を参照してください。

マニュアルの使い方

本製品を初めてお使いになる方は、はじめから順にお読みください。これまでにお使いで、特定の機能についての説明を確認したい方は、必要に応じてお読みいただいても構いません。

「MIRACLE VISUAL STATION」について

→ 「1. MIRACLE VISUAL STATIONの概要」(8ページ)

「MIRACLE VISUAL STATION」を使用するには

→ 「2. 「MVSプレイヤー」使用の準備」(23ページ)

→ 「3. 「MVSプレイヤー」の設定」(30ページ)

「MIRACLE VISUAL STATION」でコンテンツを再生するには

→ 「4. コンテンツの再生」(38ページ)

その他の便利機能を使用するには

→ 「5. 便利機能の活用」(39ページ)

困ったときは

→ 「6. その他の情報」(71ページ)

用語定義一覧

用語	説明
MIRACLE VISUAL STATION (MVS)	コンテンツの作成から再生まで行えるデジタルサイネージ製品です。 「MVSプレイヤー」と「EMPopMaker」で構成されます。 MVSは、「MIRACLE VISUAL STATION」の略です。
MVSプレイヤー	動画や静止画、またはそれらを組み合わせたデジタルサイネージデータ(=コンテンツ)を再生するためのハードウェアです。
EMPopMaker	動画、静止画などを組み合わせたコンテンツの作成、また作成したコンテンツの再生スケジュールを作成するためのソフトウェアです。Windows PC上で動作します
PC	本マニュアル内では、Windows PCの事です。
コンテンツ素材	動画、静止画、Flash、URLファイル、テロップ(テキストファイル)といった、コンテンツを作成するためのファイルの事です。
コンテンツ	コンテンツ素材(動画、静止画など)を組み合わせたデジタルサイネージデータを指します。
コンテンツフォルダ	「MVSプレイヤー」に存在する、コンテンツ素材やコンテンツが格納されているフォルダの事です。

改訂履歴

バージョン	日付	変更内容
1.0.0	2011/10/1	新規作成
1.1.0	2012/3/1	新バージョンに伴う追記
1.2.0	2012/6/29	縦2テンプレートの追加による説明を追加
1.3.0	2013/11/29	新バージョンに伴う更新
1.4.0	2015/4/16	新バージョンに伴う修正
4.1.06	2016/1/29	新バージョンに伴う修正 EMPopMaker ブレイヤー版の説明を削除
4.1.10	2016/11/30	DisplayPort接続での注意を追加
4.1.10 rev 2	2017/11/27	社名変更に伴う修正
4.1.11	2019/7/29	新バージョンに伴う修正

目次

はじめに.....	2
1. MIRACLE VISUAL STATION の概要	8
1.1 特長.....	8
1.2 MIRACLE VISUAL STATION の構成.....	9
1.2.1 構成内容	10
1.2.2 スタンドアロンの構成	11
1.2.3 ネットワークを使った構成	12
1.3 コンテンツの作成と管理.....	13
1.3.1 コンテンツ作成から再生までの流れ	13
1.3.2 「EMPopMaker PC 版」による作成と管理.....	14
1.4 コンテンツの再生方法	16
1.4.1 USB メモリからダイレクト再生	17
1.4.2 コンテンツを「MVS プレイヤー」にコピーして再生.....	18
1.4.3 ネットワークからコンテンツを再生	19
1.5 再生できるファイルの種類	21
1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式.....	21
1.5.2 再生できる静止画ファイルの形式.....	22
2. 「MVS プレイヤー」使用の準備	23
2.1 用意するもの	23
2.2 使用上の注意	24

2.3 起動と終了	25
2.3.1 起動する	25
2.3.2 終了する	25
2.3.3 画面の見かた	25
2.3.4 ヘルプの見かた	26
2.4 お買い上げ時の状態	26
2.4.1 現在の状態を表示する	26
3. 「MVSプレイヤー」の設定	30
3.1 システム設定	30
3.2 コンテンツ	32
3.3 ネットワーク設定	33
3.4 画面設定	34
3.5 国と地域、言語	35
3.6 メンテナンス	36
4. コンテンツの再生	38
4.1 コンテンツの再生方法	38
5. 便利機能の活用	39
5.1 環境設定に関する便利機能	39
5.1.1 ネットワークに接続するには	39
5.1.2 画面解像度を変更するには	41
5.1.3 ディスプレイを縦置きにするには	43
5.1.4 起動時に再生するコンテンツを指定するには	45
5.1.5 ソフトウェアをアップデートするには	49
5.2 コンテンツ素材の追加・削除に関する便利機能	50

5.2.1 「MVS プレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには	50
5.2.2 「MVS プレイヤー」からコンテンツ素材を削除するには.....	54
5.3 コンテンツ素材の再生に関する便利機能（クイックプレイ）	55
5.3.1 USB メモリの自動再生	56
5.3.2 USB メモリの手動再生.....	59
5.3.3 コンテンツフォルダの手動再生.....	62
5.3.4 PC のコンテンツ素材の手動再生	65
5.4 コンテンツに関する便利機能	69
5.4.1 「MVS プレイヤー」間でコンテンツをコピーするには.....	69
6. その他の情報.....	71
6.1 よくある質問	71
6.2 困ったときには.....	74
6.3 画面解像度設定のショートカットキー	76

1. MIRACLE VISUAL STATIONの概要

「MIRACLE VISUAL STATION」は、コンテンツの作成から再生まで行えるデジタルサイネージ製品です。

「MIRACLE VISUAL STATION」設定メニューから簡単な操作でコンテンツを再生することができます。

1.1 特長

- **フル HD 対応**

フルHD (1920×1080ピクセル) の動画を再生できます。

- **滑らかなテロップ表示**

見やすい滑らかなテロップを表示できます。

- **主要な動画／音声コーデックを搭載**

一般的に広く利用されている動画／音声コーデックを搭載しています。

- **コンテンツ作成機能を搭載**

数ステップで簡単にコンテンツを作成できます。

- **長時間連続使用を目的とした自己監視機能**

無人になる場所および夜間の使用を考慮して、長時間の連続使用を可能にする自己監視機能を標準で搭載しています。

- **USB メモリによるコンテンツ素材の自動再生**

静止画ファイルや動画ファイルなどのコンテンツ素材を格納したUSBメモリを「MVSプレイヤー」に挿入することにより、静止画のクロスフェード再生や動画の連続再生ができます。

- **複数言語テロップ**

再生するコンテンツのテロップに、日本語、英語、中国語（簡体中国語、繁体中国語）、韓国語を使用できます。

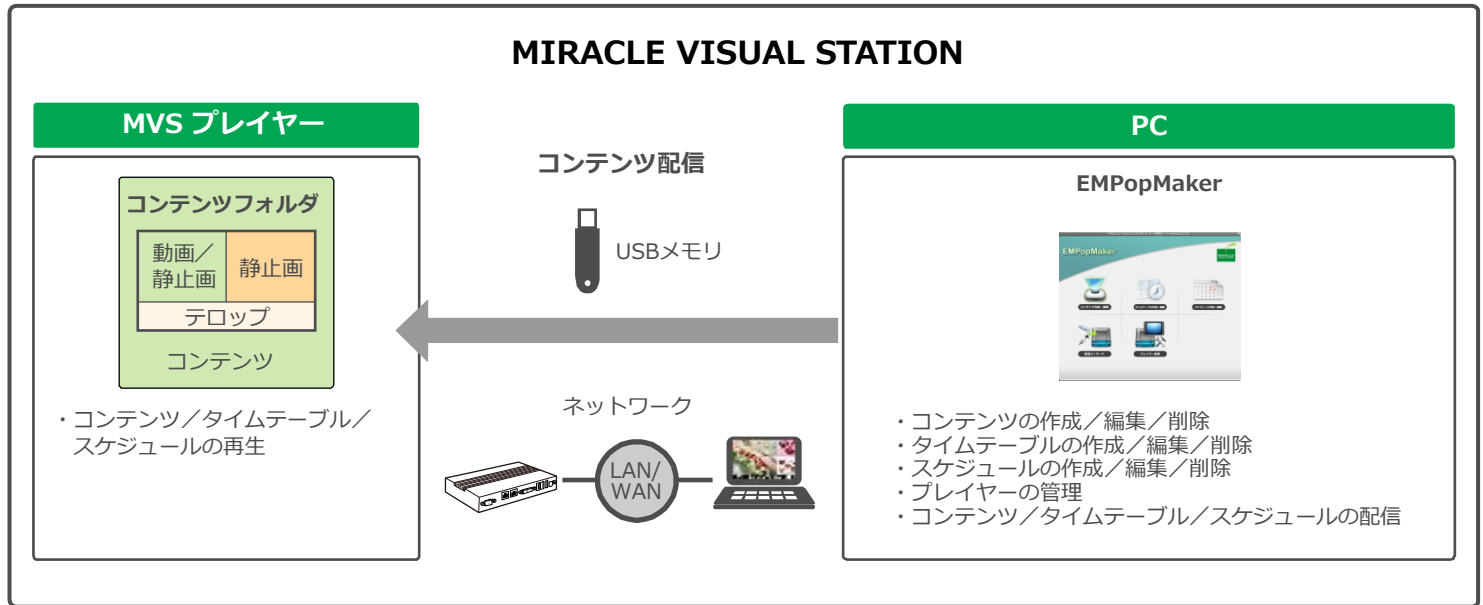


コンテンツ再生イメージ

1.2 MIRACLE VISUAL STATIONの構成

「MIRACLE VISUAL STATION」は、「MIRACLE VISUAL STATIONプレイヤー」（以下、MVSプレイヤー）と、コンテンツの作成や管理をするソフトウェア「EMPopMaker」で構成されています。

コンテンツの作成や管理を行うEMPopMakerは、Windows PC上で動作します。



1.2.1 構成内容

- **MVSプレイヤー**

「MVSプレイヤー」は、動画や静止画、またはそれらを組み合わせたデジタルサイネージデータ（以下、コンテンツ）を再生するためのハードウェアです。

- **EMPopMaker**

「EMPopMaker」は、Windows PC（以下、PC）で使用するソフトウェアです。コンテンツの作成からタイムテーブル、配信スケジュールの設定が簡単にできるほか、ネットワークによる配信や「MVSプレイヤー」の管理などができます。Windows 7、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10に対応しています。

「EMPopMaker」で作成したコンテンツは、USBメモリまたはネットワークで「MVSプレイヤー」に配信して、再生します。

- **コンテンツフォルダ**

作成したコンテンツを保存しておく「MVSプレイヤー」内のフォルダです。

1.2.2 スタンドアローンの構成

「MVSプレイヤー」を単体で使用、または「MVSプレイヤー」とPCを接続して使用することができます。

●「MVSプレイヤー」単体の構成

「MVSプレイヤー」にディスプレイ、キーボード、マウスを接続して、コンテンツの再生ができます。



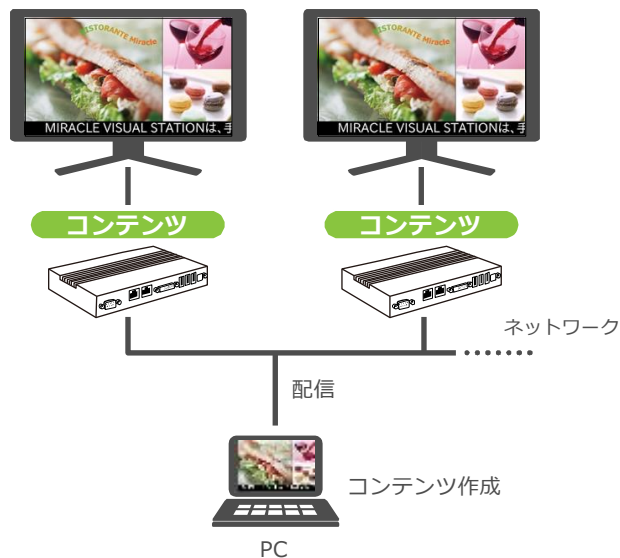
●「MVSプレイヤー」とPCを使った構成

「EMPpopMaker」で作成したコンテンツをUSBメモリに保存し、「MVSプレイヤー」に挿し込むだけで簡単に再生できます。



1.2.3 ネットワークを使った構成

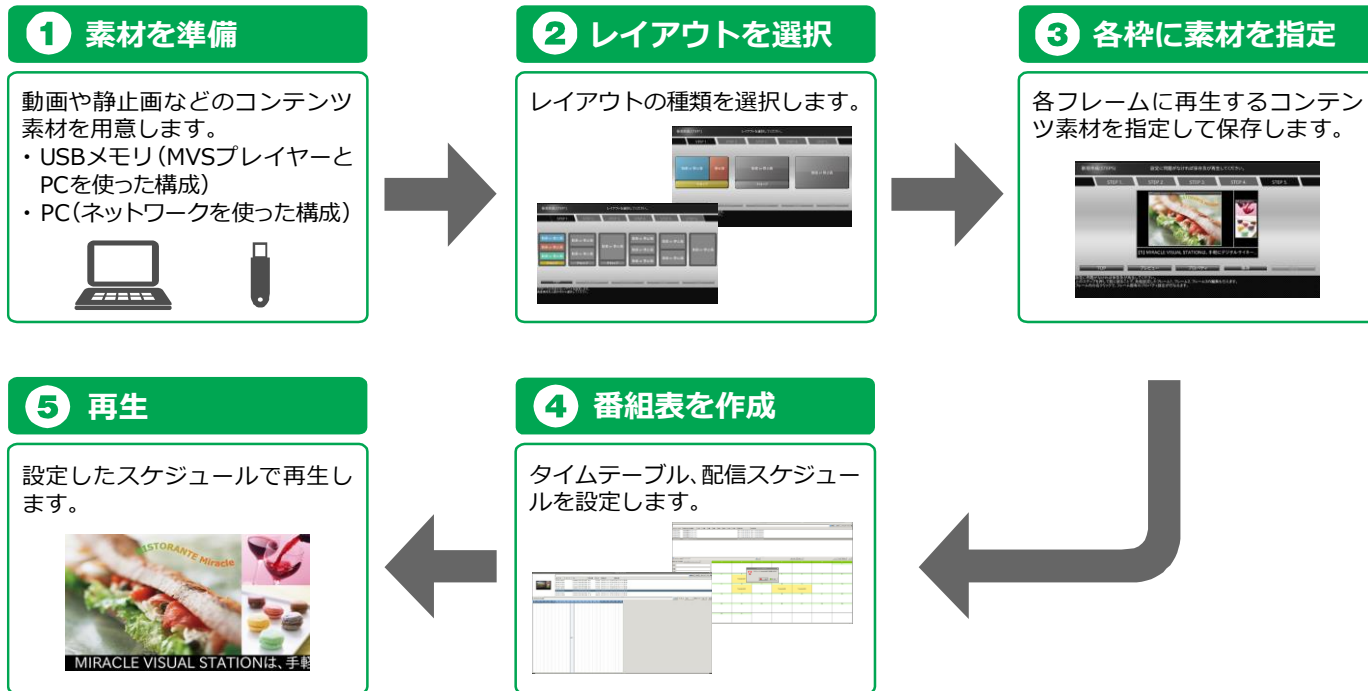
「EMPopMaker」で作成したコンテンツを、ネットワークで「MVSプレイヤー」に配信して、再生できます。複数の「MVSプレイヤー」を管理することもできます。



1.3 コンテンツの作成と管理

コンテンツの作成と管理は、EMPopMakerを使ってPC上で行います。

1.3.1 コンテンツ作成から再生までの流れ



1.3.2 「EMPopMaker」による作成と管理

「MVSプレイヤー」上で再生するコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを作成できます。また、ネットワークに接続された「MVSプレイヤー」へ、コンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを配信できます。

「EMPopMaker」で作成したコンテンツを再生したり、タイムテーブルとスケジュールを設定したりするには、「MVSプレイヤー」に配信する必要があります。

●コンテンツの作成/編集/削除

「MVSプレイヤー」で再生するコンテンツを作成します。

また作成したコンテンツの編集や削除ができます。

●タイムテーブルの作成/編集/削除

コンテンツを再生する時間はタイムテーブルで管理します。タイムテーブルでは、1日の中でコンテンツ再生開始時間、終了時間を設定します。設定したタイムテーブルは編集や削除ができます。

●スケジュールの作成/編集/削除

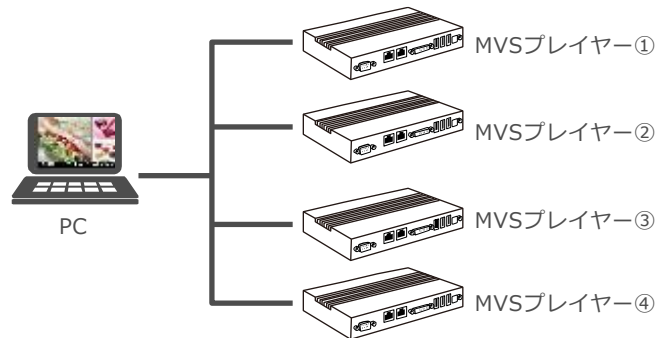
コンテンツを再生する日はスケジュールで管理します。スケジュールでは、タイムテーブルで設定した時刻を再生する年月日/曜日/全日(毎日)に設定することができます。設定したスケジュールは編集や削除ができます。

●USBメモリへのコンテンツ保存

作成したコンテンツは、USBメモリに保存できます。「MVSプレイヤー」では、USBメモリからコンテンツを直接読み込んで再生したり、コンテンツをコピーして再生したりできます。

●「MVSプレイヤー」管理

ネットワークに接続された「MVSプレイヤー」を登録して、特定のプレイヤーグループに特定のコンテンツを配信するなど、ネットワークから配信を管理できます。「EMPopMaker」で作成したコンテンツ、タイムテーブル、スケジュールをネットワーク配信する際に使用します。



Memo

詳しくは、『EMPopMaker 簡易操作マニュアル』を参照してください。

●コンテンツ/タイムテーブル/スケジュールのネットワーク配信

「EMPopMaker」で作成したコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを、ネットワークで「MVSプレイヤー」に配信します。

1.4 コンテンツの再生方法

コンテンツを再生するには、次の3つの方法があります。

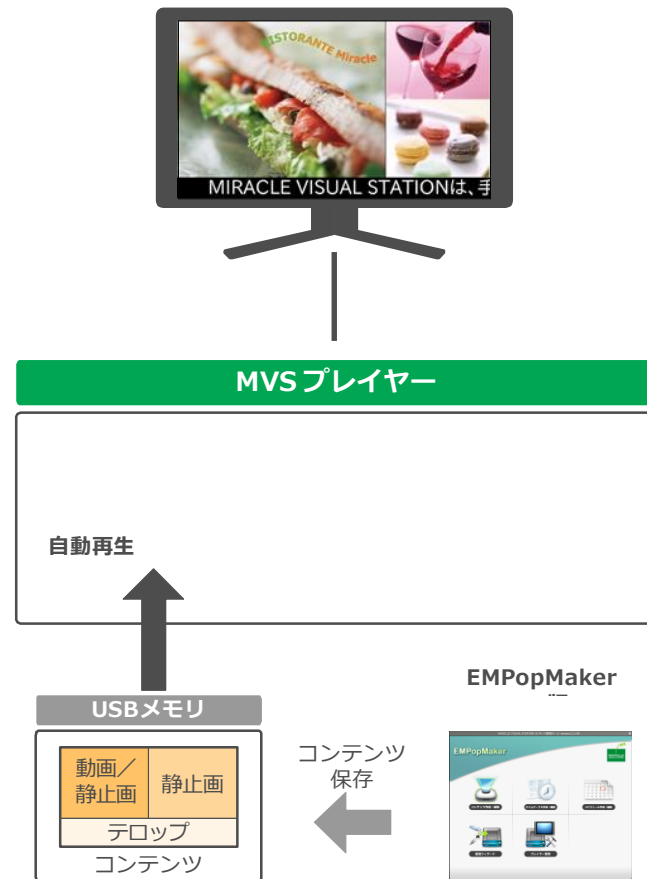
- USBメモリからダイレクトに再生する
→ 「1.4.1 USBメモリからダイレクト再生」(17ページ)
- USBメモリからコンテンツをコピーして再生する
→ 「1.4.2 コンテンツを「MVSプレイヤー」にコピーして再生」(18ページ)
- ネットワークからコンテンツを配信して、再生する
→ 「1.4.3 ネットワークからコンテンツを再生」(19ページ)

1.4.1 USBメモリからダイレクト再生

PC上で作成したコンテンツを保存したUSBメモリからコンテンツを直接読み込んで再生できます。USBメモリを挿し込むと自動的にコンテンツが再生されます。USBメモリを抜くとコンテンツの再生が終了します。



ダイレクト再生は、「EMPopMaker」でコンテンツをUSBメモリに保存する際に設定します。



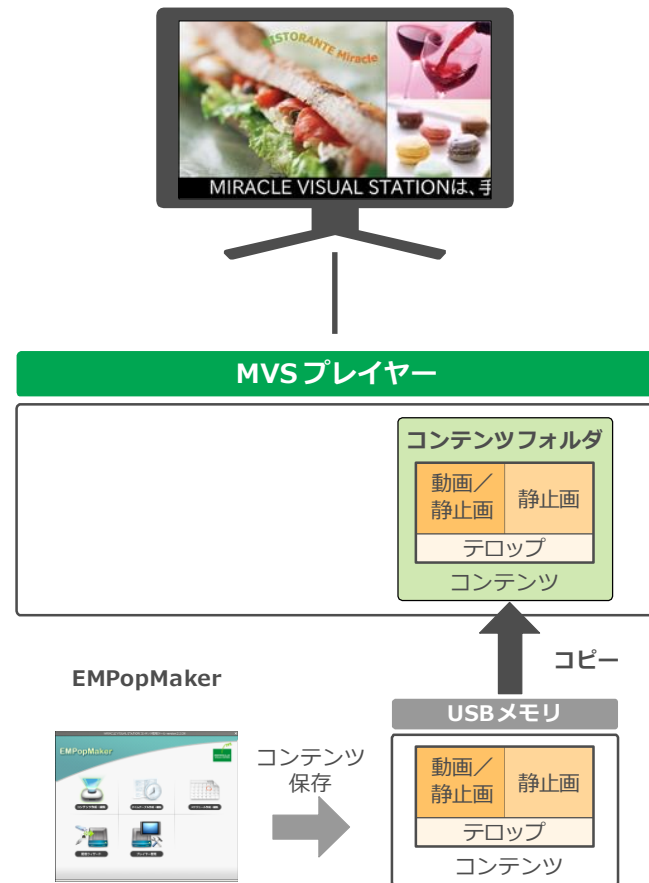
USBメモリダイレクト再生のイメージ図

1.4.2 コンテンツを「MVSプレイヤー」にコピーして再生

USBメモリに保存したコンテンツを「MVSプレイヤー」のコンテンツフォルダにコピーしてから再生します。USBメモリを挿し込むとコピー画面が表示され、コピーが開始されます。コピーが完了し、USBメモリを抜くとコンテンツの再生が開始されます。



コピーして再生するには、「EMPopMaker」でコンテンツをUSBメモリに保存する際に設定します。



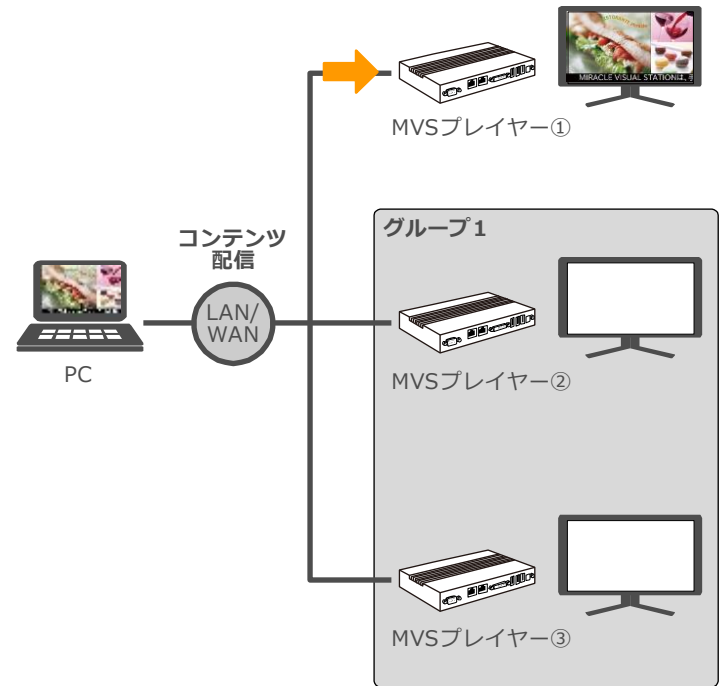
USBメモリからコピーして再生のイメージ図

1.4.3 ネットワークからコンテンツを再生

「EMPopMaker」で作成したコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールは、ネットワーク経由で「MVSプレイヤー」に配信できます。以下の3通りの配信方法があります。

●単一配信

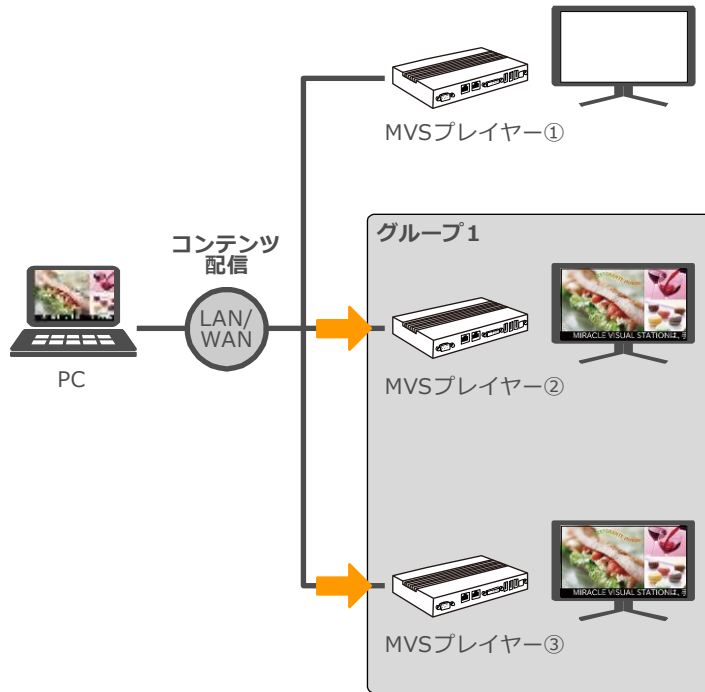
1台の「MVSプレイヤー」を指定して、コンテンツを配信します。



単一配信のイメージ図

●グループ配信

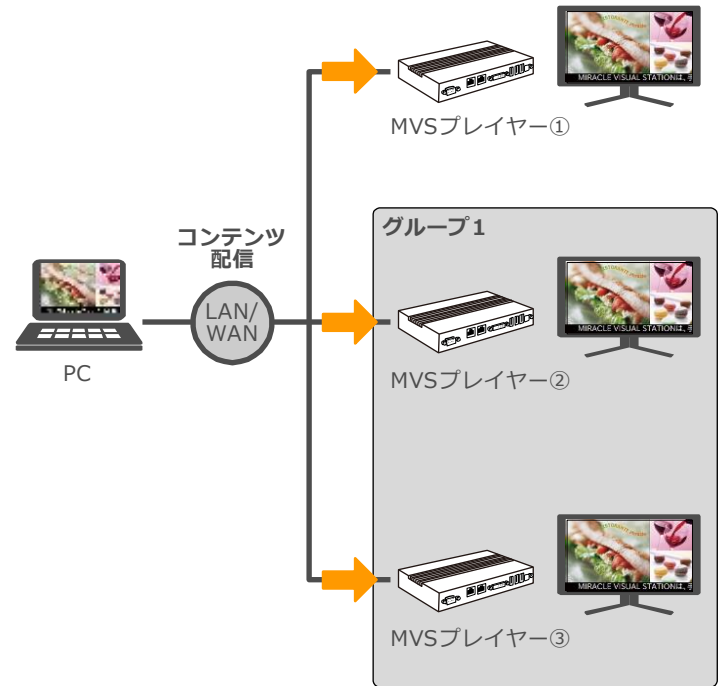
複数の「MVSプレイヤー」をグループに登録して、特定のグループに対してコンテンツを配信することができます。



グループ配信のイメージ図

●全端末配信

プレイヤー管理に登録されているすべての「MVSプレイヤー」にコンテンツを配信します。



全端末配信のイメージ図

1.5 再生できるファイルの種類

「MVSプレイヤー」で再生できる動画・音声・静止画の形式およびその他の仕様を説明します。

1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式

ファイル拡張子は、コーデックやファイル形式に応じて以下の表で指定された拡張子を使用してください。

一般的な呼び名	拡張子	コンテナ形式	映像コーデック	音声コーデック	再生方式
H.264/MPEG4	mp4	MP4	H.264	AAC	ハードウェア
	m4v	MP4	H.264	なし	
	mov	MOV	H.264	AAC	
Windows Media Video	wmv	ASF	WMV (VC-1)	WMA	
	wm	ASF	WMV (VC-1)	なし	
MPEG2	m2p	MPEG-2 PS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	mpg	MPEG-2 PS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	m2v	MPEG-2 PS	MPEG2	なし	
	mpgp2	MPEG-2 PS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	m2t	MPEG-2 TS	MPEG2	なし	
	m2tp2	MPEG-2 TS	MPEG2	MPEG-1 Layer2	
	mpgaac	MPEG-2 PS	MPEG2	AAC	
	m2taac	MPEG-2 TS	MPEG2	AAC	

※ MPEG-4 Videoフォーマット、Simple/Advanced simpleプロファイル、Ogg Theoraフォーマットは対応していません。

1.5.2 再生できる静止画ファイルの形式

ファイル形式	拡張子
JPEG	jpg
PNG	png
GIF	gif

2. 「MVSプレイヤー」 使用の準備

「MVSプレイヤー」を使用する前に必ず確認していただきたい点について説明します。

2.1 用意するもの

「MVSプレイヤー」でコンテンツを再生するには、次のものをご用意ください。

- ディスプレイ（DisplayPort、DVI入力対応）
- ディスプレイケーブル（DisplayPort、DVI入力対応）
- USBキーボード
- USBマウス

また、PCで作成したコンテンツを配信して、再生するには、接続形態に応じて次のものをご用意ください。

- USBメモリ
- PC
- ネットワーク環境

接続方法は、プレイヤーの機種によって異なります。以下のウェブページをご参照ください。

弊社ウェブページ

<https://www.miraclelinux.com/product-service/digital-signage/lineup>



ディスプレイが正常に動作しないときは、「6.2 困ったときには」(74 ページ) を参照してください。



DisplayPort出力とDVI出力を同時に使用することはできません。DisplayPort、または、DVIのどちらか一方でディスプレイと接続してください。



FAT でフォーマットした USB メモリをご使用ください。



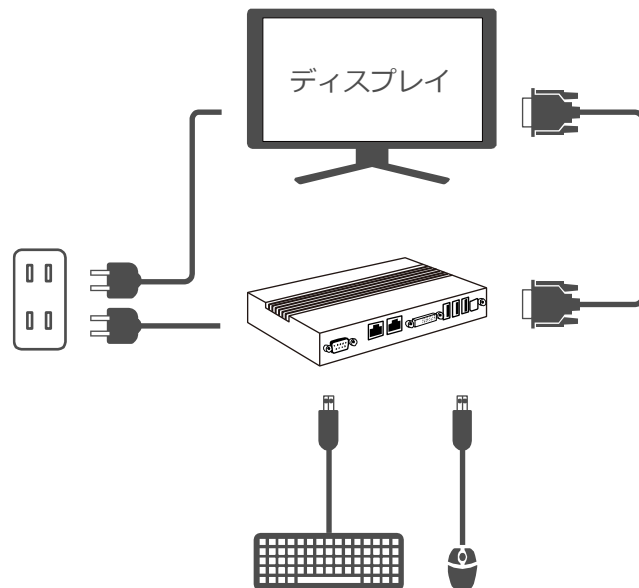
USB メモリのラベルには、空白文字を入れないでください。



DisplayPort 接続の場合、ディスプレイとの相性によってはディスプレイ電源のオン・オフやスタンバイからの復帰、ケーブルを抜き差しすること等で画面が映らなくなる場合があります。その場合は、ディスプレイと正しく接続した状態で本製品の電源を入れ直してください。ディスプレイとの接続は、相性問題の少ない DVI 接続を推奨いたします。

2.2 使用上の注意

- 電源を入れる前にプレイヤー本体とディスプレイが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- 本書では、「MVSプレイヤー」に関しての説明を記載しています。ディスプレイおよび周辺機器についての説明は製品に付属している取扱説明書をお読みください。
- コンテンツ素材には、動画・音声・静止画・Flash・URL・テロップが含まれます。コンテンツ素材は、別途お客様が用意する必要があります。
- デバッグモードは、「有効」に設定しないでください。
- 解像度の設定では、「手動(高度な設定)」を使用しないでください。
- 「MVSプレイヤー」を設定したり、操作したりするときにはUSBマウスとUSBキーボードが必要です。
※コンテンツ再生中など、設定、操作しないときは取り外しが可能です。
- 「MVSプレイヤー」には、ディスプレイケーブルは同梱されておりません。DisplayPort、DVI入力に対応するディスプレイケーブルを別途準備してください。



「MVSプレイヤー」の接続例

2.3 起動と終了

2.3.1 起動する

プレイヤーの電源を入れ「MVSプレイヤー」を起動します。プレイヤーが起動すると、設定メニューの「トップ」画面が表示されます。



2.3.2 終了する

プレイヤーの電源を切りMIRACLE VISUAL STATIONを終了します。



2.3.3 画面の見かた

画面は4つのエリアに分かれています。メニューエリアにあるボタンをクリックするとそれぞれの設定画面が表示されます。設定画面では、メインエリアに項目が表示されるので、必要な値を選択または設定します。

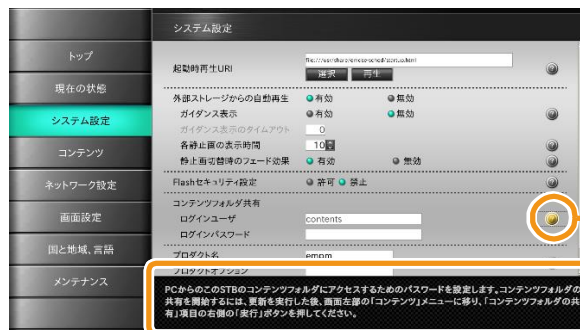


項目名	説明
メニューエリア	メニューをクリックするとメインエリアに各設定画面が表示されます。
タイトルエリア	設定メニューの画面タイトルが表示されます。
メインエリア	設定画面に応じて項目を設定します。
メッセージエリア	操作に応じた説明文が表示されます。

2.3.4 ヘルプの見かた

メインエリアにある項目の右側にヘルプボタン  が用意されています。クリックすると  のように黄色に変わります。次のヘルプボタンをクリックするか別の画面を表示するまで、メッセージエリアに説明文が表示されます。

ヘルプボタンをクリック



メッセージエリアに
説明文が表示される

2.4 お買い上げ時の状態

初めて利用する場合は、最初に「現在の状態」をクリックして設定されている内容を確認してください。

2.4.1 現在の状態を表示する

現在の状態を表示するには、メニューエリアで「現在の状態」をクリックします。「システム設定」、「ネットワーク設定」、「画面設定」、「管理」画面で設定されている内容が表示されます。

この画面は、設定内容を確認するためのもので、設定する画面ではありません。

現在の状態	
トップ	バージョン Embedded MIRACLE for Digital Signage Edition 4.1.06 (eMIRACLE)
現在の状態	言語設定 日本語(ja_JP) 起動時再生URI file:///usr/share/emise-sched/startup.html 短名 miracle
システム設定	コンテンツフォルダ共有状態 コンテンツフォルダ共有 コンテンツフォルダ共有 ログインユーザ contents ログインパスワード 未設定(コンテンツフォルダの共有は行いません)
コンテンツ	プロダクト名 プロダクトオプション empmm
ネットワーク設定	外部ストレージ 未接続 生 有効 ガイダンス表示 無効 ガイダンス表示のタイムアウト 0
画面設定	各静止画の表示時間 10 静止画切替時のフェード効果 有効
国と地域、言語	
メンテナンス	



設定した値をお買い上げ時の設定に戻す場合は、次表の「お買い上げ時の状態」欄に記載する値を参照してください。

【現在の状態】 画面項目およびお買い上げ時の状態

項目名	説明	お買い上げ時の状態
バージョン	現在の「MVSプレイヤー」システムのバージョンを表示します。	お買い上げ時のバージョン
言語環境	〔国と地域、言語〕 画面で設定した言語環境を表示します。	日本語 (ja_JP)
起動時再生URI確認	〔システム設定〕 画面で設定した場合、起動時に再生するコンテンツをURI (Uniform Resource Identifier) で表示します。	未設定
端末名	〔ネットワーク設定〕 画面で設定した「MVSプレイヤー」の端末名称を表示します。	miracle
コンテンツフォルダ共有状態	コンテンツフォルダの共有状態を表示します。 また、共有する際のログインユーザ名 (contents固定) およびログインパスワード (〔システム設定〕 画面で設定) が設定されているかどうかを表示します。	コンテンツフォルダの共有状態: 停止中 ログインユーザ: contents (変更不可) ログインパスワード: 未設定 (コンテンツフォルダの共有は行えません)
プロダクト名	サービスマンがメンテナンス用として使用します。設定は変更しないでください。	プロダクト名: empm プロダクトオプション: 未設定
外部ストレージ	USBメモリなどの外部ストレージメディアを接続しているかどうかを表示します。また、〔システム設定〕 画面で設定した、外部ストレージメディア接続時の動作を表示します。	外部ストレージ: 未接続 外部ストレージからの自動再生: 有効 ガイダンス表示: 無効 ガイダンス表示のタイムアウト: 0 各静止画の表示時間: 10 静止画切替時のフェード効果: 有効
Syslog送信	〔メンテナンス〕 画面で設定したSyslogの送信先サーバーアドレスを表示します。	Syslog送信: 無効 Syslogサーバーアドレス: 未設定
コアダンプの保存	〔メンテナンス〕 画面で設定したコアダンプの保存先URIを表示します。	コアダンプの保存: 無効 コアダンプの保存先URI: 未設定
ログ保存	〔メンテナンス〕 画面で設定したログ保存を表示します。	無効
ログ保存期間	〔メンテナンス〕 画面で設定したログの保存期間を表示します。	4週間分

項目名	説明	お買い上げ時の状態
メンテナンスモード	〔メンテナンス〕画面で設定した公開鍵の登録状態を表示します。	ログインユーザ：contents ログインポート番号：50000 公開鍵：未登録
デバッグモード	〔メンテナンス〕画面で設定したデバッグモードを表示します。	無効
NTPサーバー	〔国と地域、言語〕画面で設定したNTPサーバーの設定状態を表示します。	NTPサーバー：無効 NTPサーバーアドレス：0.fedora.pool.ntp.org NTPサーバー同期状態：非同期
システム時間	〔国と地域、言語〕画面で設定したシステム時刻を表示します。	現在時刻
定期再起動	〔メンテナンス〕画面で設定した定期再起動の設定状態を表示します。	定期再起動：有効 再起動時刻：03:00
Flashセキュリティ設定	〔システム設定〕画面で設定したFlashセキュリティの設定状態を表示します。	Flashセキュリティ：禁止
ディスク容量	ディスク全体の容量を表示します。	ディスク全体の容量
ディスク使用量	ディスクの使用量を表示します。	現在のディスク使用量
ディスク空き容量	ディスクの空き容量を表示します。	現在のディスク空き容量
ディスク使用率	ディスクの使用率を表示します。	現在のディスク使用率
ログディスク容量	ログディスク全体の容量を表示します。	ログディスク全体の容量
ログディスク使用量	ログディスクの使用量を表示します。	現在のログディスク使用量
ログディスク空き容量	ログディスクの空き容量を表示します。	現在のログディスク空き容量
ログディスク使用率	ログディスクの使用率を表示します。	現在のログディスク使用率

項目名	説明	お買い上げ時の状態
ネットワークの状態	〔ネットワーク設定〕画面で設定した接続状態を表示します。	ネットワークの状態：未接続 物理アドレス：MACアドレス ネットワークの使用：無効 ネットワーク接続方式：固定IP接続 IPアドレス・ネットマスク・ゲートウェイ・プライマリDNS・セカンダリDNS：未設定
プロキシサーバー	〔ネットワーク設定〕画面で設定したプロキシサーバーアドレスを表示します。	未定義
解像度の設定	〔画面設定〕画面で設定した画面解像度の設定内容を表示します。	解像度の設定：自動 表示中の解像度、クロック周波数、HDip、HStart、HEnd、HTotal、VDip、VStart、VEnd、VTotal、水平同期信号の極性、垂直同期信号の極性：ディスプレイに依存
画面の回転設定	〔画面設定〕画面で設定した画面の回転設定を表示します。	回転しない
タイムゾーン	〔国と地域、言語〕画面で設定したタイムゾーンを表示します。	Asia/Tokyo
キーボードレイアウト	〔国と地域、言語〕画面で設定したキーボードレイアウトを表示します。	日本語106キーボード



〔ログディスク容量〕、〔ログディスク使用量〕、〔ログディスク空き容量〕、
〔ログディスク使用率〕は、〔ログ保存〕が「有効」に設定されている
場合のみ表示されます。

3. 「MVSプレイヤー」の設定

「MVSプレイヤー」は、最初に利用シーンに応じた設定をする必要があります。ここでは、各設定画面で設定する項目の内容について説明します。

3.1 システム設定

システム環境を設定するには、メニューエリアで「システム設定」をクリックします。この画面では、システムの動作環境およびコンテンツフォルダの共有に必要な項目を設定します。



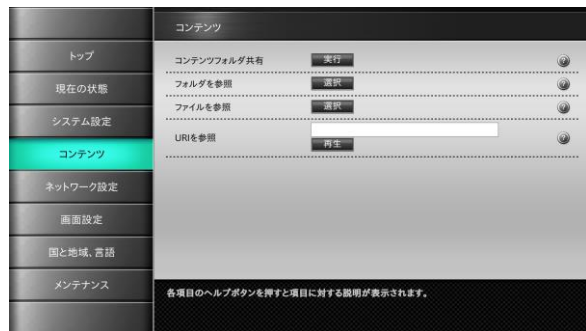
「MIRACLE VISUAL STATION」設定メニューの各設定画面にある「更新」をクリックすると、更新処理に数秒～10 数秒かかることがあります。同じボタンを二度続けて押したり、別のボタンを続けて押したりすることはないでください。

項目名	説明
起動時再生URI	起動時に再生するコンテンツのURI (Uniform Resource Identifier) を入力します。[選択] をクリックすると、コンテンツフォルダ内から選択できます。[再生] をクリックすると、起動時再生URI 確認に指定されているコンテンツを再生します。
外部ストレージからの自動再生	USBメモリなどの外部ストレージメディアをUSB端子に接続したときに自動再生するかどうかを設定します。 [外部ストレージからの自動再生] を「有効」にした場合、接続したときの「ガイダンス表示」を設定します。[ガイダンス表示] を「有効」にした場合、[ガイダンス表示のタイムアウト] を設定でき、また、ガイダンスの表示秒数を設定できます。
各静止画の表示時間	静止画を表示するときの表示秒数を設定します。
静止画切替時のフェード効果	「静止画切替時のフェード効果」を「有効」にすると、静止画が切り替わる際にフェード効果が発生します。
Flashセキュリティ設定	「許可」を設定すると、リモートのFlashコンテンツがローカルの任意のファイルを読み込むことができるようになります。
コンテンツフォルダの共有	コンテンツフォルダを共有する場合に「ログインパスワード」を設定します。[ログインユーザ] は、「contents」固定で変更できません。
プロダクト名	サービスマンがメンテナンス用として使用します。

項目名	説明
プロダクトオプション	サービスマンがメンテナンス用として使用します。
[更新]	変更した内容を更新する場合にクリックします。 正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が 反映されました。」と表示されます。

3.2 コンテンツ

コンテンツの作成、およびコンテンツフォルダを共有するには、メニューエリアで「コンテンツ」をクリックします。また、コンテンツやURIのマニュアル再生もこの画面から行います。



項目名	説明
コンテンツ フォルダ共有	「実行」をクリックすると、コンテンツフォルダの共有を開始します。コンテンツフォルダを共有するには、「ネットワーク設定」画面で「ネットワークの使用」を「有効」に設定し、「システム設定」画面で「コンテンツフォルダ共有」の「ログインパスワード」を設定する必要があります。
フォルダを参照	「選択」をクリックして再生するコンテンツ（ファイル）を選択します。選択したファイルと同階層およびそれより下の階層に存在する、すべての動画、静止画が順番に再生されます。

項目名	説明
ファイルを参照	「選択」をクリックして再生するコンテンツ（ファイル）を選択します。選択したファイルのみ再生されます。
URIを参照	入力ボックスに再生するコンテンツのURI（Uniform Resource Identifier）を入力します。「再生」をクリックすると指定したコンテンツを再生します。Webページを表示する場合、必要に応じて「ネットワーク設定」画面でプロキシサーバーの設定をする必要があります。

3.3 ネットワーク設定

ネットワーク環境を設定するには、メニューエリアで「ネットワーク設定」をクリックします。



複数のMVSプレイヤーに対して、端末名に同一の名称を設定しないでください。同一ネットワーク上に同じ端末名をもつMVSプレイヤーが存在する場合、EMPopMakerからプレイヤー名を使用したネットワーク配信が正しく行えなくなります。

項目名	説明
端末名	「MVSプレイヤー」の端末名称を入力します。
ネットワークの使用	ネットワークを使用するかどうかを設定します。ネットワーク接続方式を「固定IP接続」に設定した場合は、IPアドレス以下の項目を設定する必要があります。
プロキシサーバー	プロキシサーバーを経由してWebサーバーに接続する場合にサーバーアドレスを設定します。プロキシサーバーは、「http://サーバーのIPアドレス:ポート番号」の形式で設定してください。
[更新]	変更した内容を更新する場合にクリックします。正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。

3.4 画面設定

画面サイズを設定するには、メニューエリアで「画面設定」をクリックします。この画面では、画面解像度および画面表示の回転角度を設定します。



解像度の設定では、「手動（高度な設定）」を使用しないでください。サービスマンがメンテナンス用として使用します。



画面を回転させて使用する場合は、解像度の設定を「自動」で使用してください。その他の解像度を選択した場合、動画やテロップの再生品質が低下する場合があります。

項目名	説明
解像度の設定	解像度を、「自動」「選択」「固定(480p)」「固定(720p)」「固定(1080p)」「手動（高度な設定）」から選択します。通常は、「自動」のままにしてください。
画面の回転設定	画面の回転角度を、「回転しない」「左90度回転」「180度回転」「右90度回転」から選択します。通常は、「回転しない」のままにしてください。
[更新]	変更した内容を更新する場合にクリックします。正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。

3.5 国と地域、言語

「MVSプレイヤー」の言語設定やシステム時間を設定するには、メニューエリアで「国と地域、言語」をクリックします。



項目名	説明
言語環境	「MVSプレイヤー」で表示する言語を設定します。
キーボードレイアウト	キーボードのレイアウトを設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
NTP同期	〔有効〕に設定すると、システム時間をNTPサーバーとの同期を行います。
NTPサーバーアドレス	NTPサーバーのIPアドレスを設定します（NTP同期を有効に設定している場合のみ設定可能）。
システム時間	〔更新〕をクリックするとシステム時間を更新します（NTP同期を無効に設定している場合のみ設定可能）。
〔更新〕	変更した内容を更新する場合にクリックします。正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。



言語環境の設定では、「英語」と「日本語」が選択できます。「中国語（簡体字・繁体字）」はご利用いただけません。

3.6 メンテナンス

「MVSプレイヤー」のメンテナンス情報を設定するには、メニューエリアで「メンテナンス」をクリックします。



デバッグモードは、「有効」に設定しないでください。



通常、ログ保存は「無効」のままにしてください。「有効」はサービスマンがメンテナンス用として使用します。

項目名	説明
アップデート チェック日/時刻	アップデートをチェックした日および時刻を表示します。
アップデートの有無	アップデートの有無を表示します。アップデートがあれば新しいバージョンがあることを表示します。
アップデートの手動チェック	「実行」をクリックするとアップデートがあるかどうかをチェックします。アップデートがあれば新しいバージョンがあることを表示します。
アップデート実行	「実行」をクリックするとアップデートを開始します。
Syslog送信	「有効」に設定すると、Syslogをサーバーへ送信します。
Syslogサーバーアドレス	Syslogの送信先サーバーを設定します。
コアダンプの保存	コアダンプの保存を有効/無効化します。
コアダンプの保存先URI	コアダンプの保存先を設定します。
ログ保存	「有効」に設定すると、[ログ保存期間]で指定した期間、Syslogが保存されます。
ログ保存期間	Syslogの保存期間を設定します。
ログの取り出し	「実行」をクリックすると、SyslogをUSBメモリにコピーします。
ログインユーザ	メンテナンス用にSSHでログイン可能なユーザ名です。[ログインユーザ]は「contents」固定で変更できません。

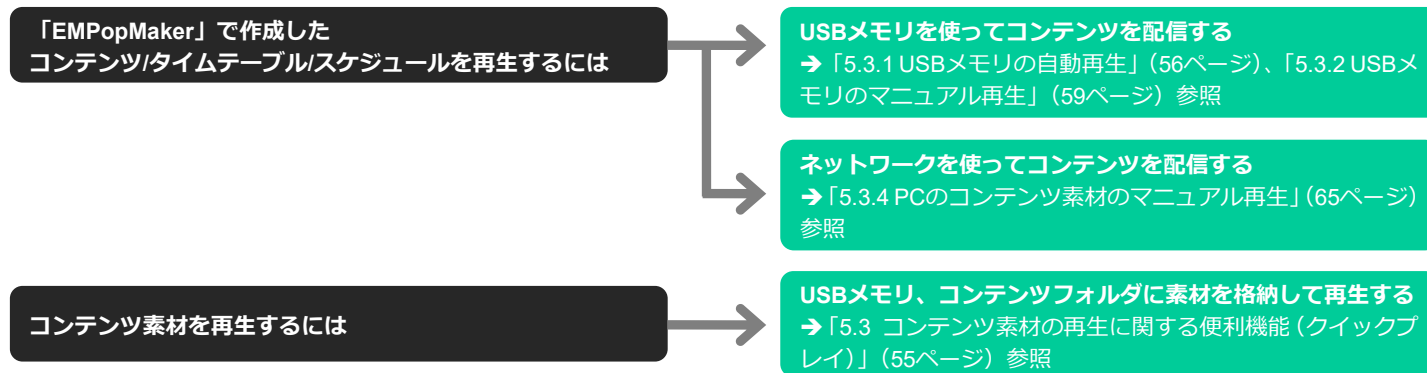
項目名	説明
ログインポート番号	メンテナンス時、システムにSSHでアクセスする際のポート番号です。[ログインポート番号]は「50000」固定で変更できません。
公開鍵	公開鍵の登録状態を表示します。
公開鍵の追加	[選択] をクリックして、メンテナンス用にSSHログインするための公開鍵を選択します。公開鍵は複数登録することができます。
公開鍵の削除	[実行] をクリックすると、登録されている公開鍵を削除します。
デバッグモード	サービスマンがメンテナンス用として使用します。
システムの再起動	[再起動] をクリックすると「MVSプレイヤー」を再起動します。
定期再起動	「有効」に設定すると、毎日設定した時刻に「MVSプレイヤー」を再起動します。
再起動時刻	定期再起動を行う時刻を設定します。
[更新]	変更した内容を更新する場合にクリックします。正しく変更されるとメッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。

4. コンテンツの再生

「MVSプレイヤー」では、コンテンツ素材（動画、静止画、Flashなど）のほか、EMPopMakerで作成したコンテンツ/タイムテーブル/スケジュールを再生することができます。

4.1 コンテンツの再生方法

コンテンツの再生方法



5. 便利機能の活用

ここでは、ネットワークへの接続、画面解像度の設定などの便利な機能についての操作方法を説明します。

5.1 環境設定に関する便利機能

5.1.1 ネットワークに接続するには

ネットワークに接続するには、「MVSプレイヤー」にネットワークケーブルを接続します。

最初に［ネットワーク設定］画面でネットワークの設定をすると、コンテンツフォルダを共有してネットワーク上のPCのコンテンツを利用できます。［ネットワーク設定］画面については、「[3.3 ネットワーク設定](#)」(33ページ)を参照してください。

1 LANケーブルを接続する

プレイヤーの端子にLANケーブルを接続します。



ネットワークケーブルは、LAN ポート A に接続してください。LAN ポート B の使用はできません。

2 ネットワーク設定をする

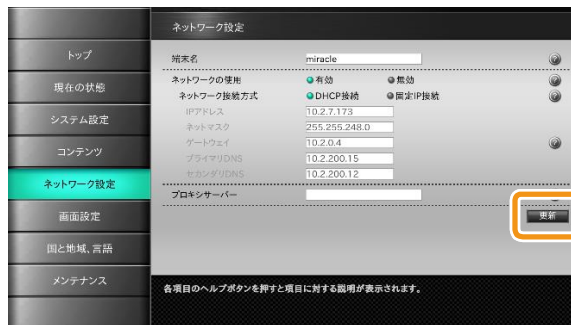
メニューエリアで「ネットワーク設定」をクリックします。

⇒ 「ネットワーク設定」画面が表示されます。



「ネットワーク
設定」をクリック

「ネットワークの使用」を「有効」に設定します。
 「ネットワーク接続方式」を「DHCP接続」と「固定IP接続」から選択します。
 「DHCP接続」に設定する場合は、「DHCP接続」を選択後、「更新」をクリックします。
 「固定IP接続」を設定する場合は、「固定IP接続」を選択後、各アドレスの値を入力します。
 IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイ、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力して「更新」をクリックします。



設定したら、
「更新」を
クリック

5.1.2 画面解像度を変更するには

画面の解像度を変更するには、[画面設定] 画面を使用します。

画面が正常に表示されなくなった場合は、ショートカットキーを利用して解像度を設定できます。

ショートカットキーについては、「[6.3 画面解像度設定のショートカットキー](#)」(76ページ)を参照してください。

1 [画面設定] 画面を表示する

メニューエリアで [画面設定] をクリックします。

➤ [画面設定] 画面が表示されます。

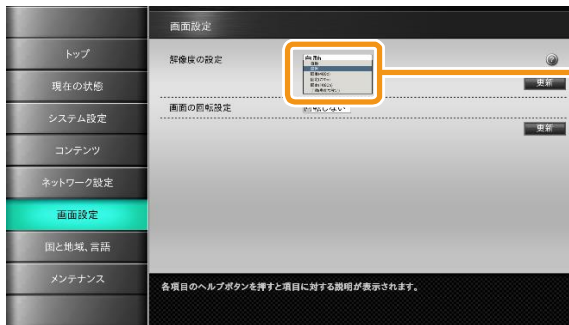


「画面設定」をクリック

2 画面解像度を設定する

[解像度の設定] のドロップダウンリストから「選択」を選択します。

➤ [解像度の選択] にドロップダウンリストが表示されます。



「選択」を選択



解像度の設定では、「手動（高度な設定）」を使用しないでください。
サービスマンがメンテナンス用として使用します。

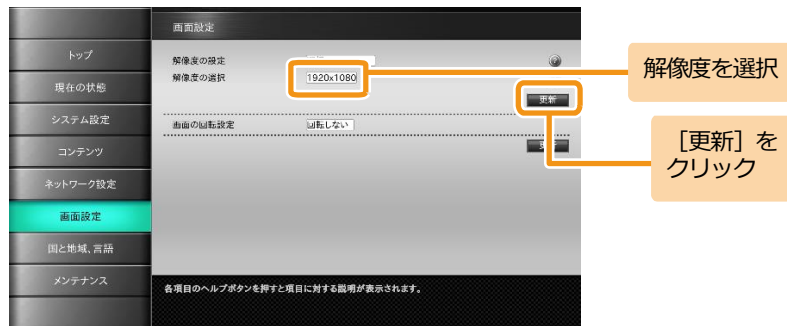
3 解像度を選択する

ドロップダウンリストから解像度を選択して「更新」をクリックします。

⇒ 画面解像度が設定されます。



ディスプレイにより設定できる画面解像度が変わります。
画面解像度については、ディスプレイに付属している取扱説明書をお読みください。



5.1.3 ディ스플레이を縦置きにするには

ディスプレイを縦置きにするには、まず横置き状態で「画面の回転設定」をしてから、ディスプレイを縦向きに回転させます。

1 「画面設定」画面を表示する

メニューエリアで「画面設定」をクリックします。

➤ 「画面設定」画面が表示されます。

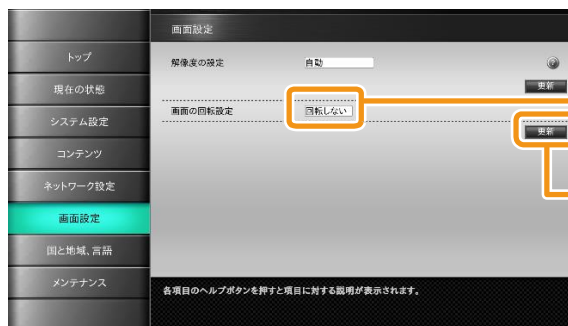


「画面設定」を
クリック

2 画面の回転設定をする

ディスプレイ回転の向きに従い「画面の回転設定」で「左90度回転」または「右90度回転」を選択して「更新」をクリックします。

➤ 画面が縦方向に回転します。



「左90度回転」
または
「右90度回転」
を選択

「更新」を
クリック

3 ディスプレイを縦置きにする

ディスプレイを縦置きにして「MIRACLE VISUAL STATION」設定メニューから通常の操作ができます。



画面を回転させて使用（縦 1 テンプレートを使用）する場合、画面の解像度は自動に設定することを推奨します。自動以外の解像度を選択した場合、動画やテロップの再生品質が低下する場合があります。



5.1.4 起動時に再生するコンテンツを指定するには

「MVSプレイヤー」を起動するとき、自動的に再生するコンテンツを指定します。

1 「システム設定」画面を表示する

メニューエリアで「システム設定」をクリックします。

➤ 「システム設定」画面が表示されます。



2 起動時に再生するコンテンツを指定する

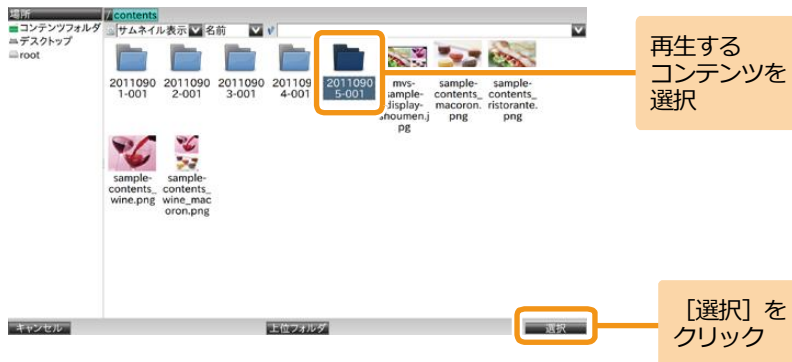
「システム設定」画面で「起動時再生URI確認」の「選択」をクリックします。

➤ コンテンツフォルダの中身が表示されます。



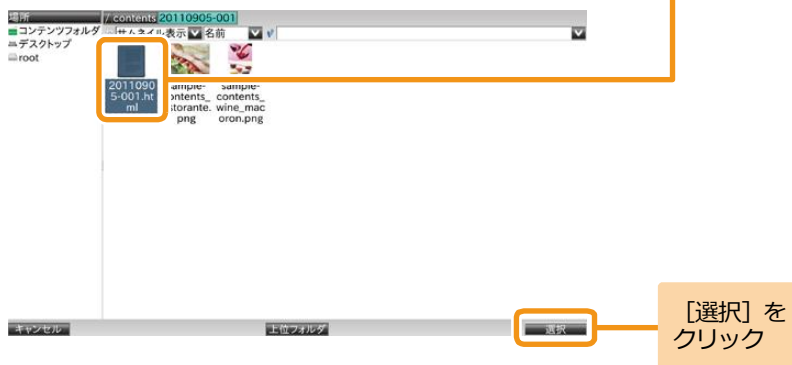
<手順2の続き>

起動時に再生するコンテンツを選択して「選択」をクリックします。



再生するコンテンツ内の「コンテンツ名.html」ファイルを選択して「選択」をクリックします。

➤ 「起動時再生URI確認」が設定されます。



<手順2の続き>

「更新」をクリックします。

➤ メッセージエリアに「変更が反映されました。」と表示されます。



「更新」をクリック

3 プレイヤーを再起動する

電源を切った後に再び電源を入れて再起動します。

➤ 「MVSプレイヤー」が起動し、メッセージが表示され10秒経過した後、設定したコンテンツが表示されます。



「設定メニューに戻る」をクリックすると、起動時にコンテンツを表示しないで設定メニューに戻ります。

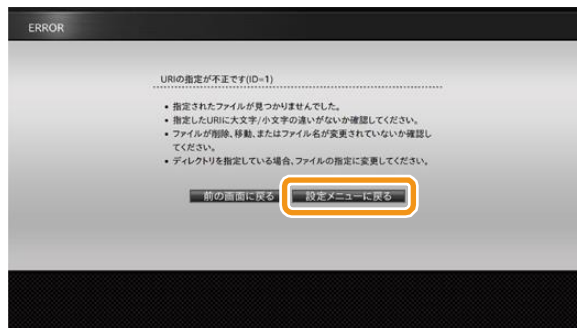


<手順3の続き>



起動時再生URIで設定したコンテンツ

➤ 設定したコンテンツがない場合は、右のエラーメッセージが表示されるので、[設定メニューに戻る] をクリックして手順1からやり直してください。



エラーメッセージ

5.1.5 ソフトウェアをアップデートするには

〔メンテナンス〕画面を表示し、ソフトウェアのアップデート状況を確認します。

〔メンテナンス〕画面については、「3.6 メンテナンス」(36ページ)を参照してください。

なお、ソフトウェアのアップデートに関しては、有償サポートが必要となります。



ソフトウェアのアップデートについて、より詳しい情報を以下のウェブページで公開しておりますので、ご参照ください。

弊社ウェブページ

<https://www.miraclelinux.com/product-service/digital-signage/support>

5.2 コンテンツ素材の追加・削除に関する便利機能

5.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには

ネットワーク上のPCからコンテンツ素材を保存するためにコンテンツフォルダを共有します。

コンテンツフォルダを共有するには、[システム設定] 画面の [コンテンツフォルダ共有] で [ログインパスワード] を設定し、ネットワークに接続する必要があります。

[ログインパスワード] の設定については、「[3.1 システム設定](#)」(30ページ) を参照してください。

1 [コンテンツ] 画面を表示する

メニューエリアで [コンテンツ] をクリックします。

➤ [コンテンツ] 画面が表示されます。

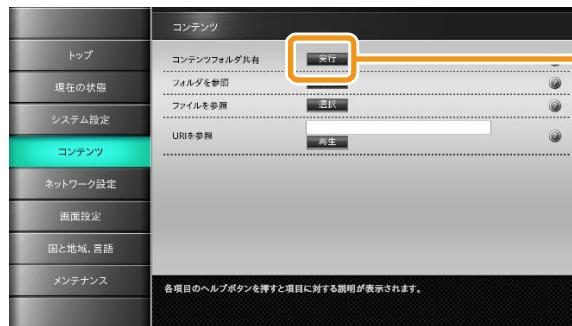


[コンテンツ] を
クリック

2 コンテンツフォルダを共有する

「コンテンツ」画面で、「コンテンツフォルダ共有」の「実行」をクリックします。

➤ 警告メッセージウインドウが表示されます。



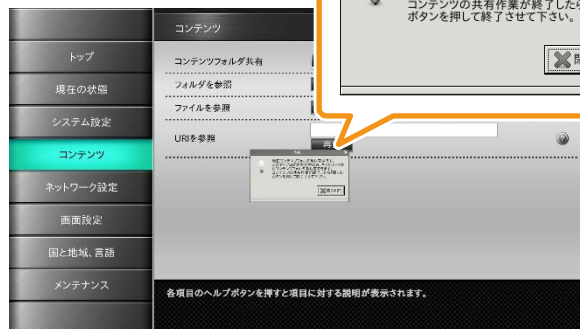
「実行」をクリック

警告メッセージウインドウが表示され、コンテンツフォルダが共有状態になります。

共有を解除するには、「閉じる」をクリックしてください。



共有中は、画面の操作はできません。



3 ネットワーク上のPCから接続する

ネットワーク上のPCからWindowsエクスプローラーまたはInternet Explorerを起動してコンテンツフォルダのアドレスを入力します。

ネットワークに接続する手順については、「[5.1.1 ネットワークに接続するには](#)」(39ページ)を参照してください。

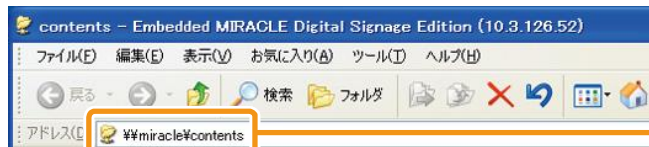
➤ コンテンツフォルダの内容が表示されます。



コンテンツフォルダのアドレスを入力する場合は、[現在の状態] 画面で、[ネットワークの状態] が「接続中」になっていることを確認してください。

端末名が「miracle」の場合の入力例は、以下ようになります。

【入力例】 ¥¥miracle¥¥contents



アドレスを
入力

5.2.2 「MVSプレイヤー」からコンテンツ素材を削除するには

「MVSプレイヤー」に格納したコンテンツ素材を削除する方法について説明します。

1 コンテンツフォルダを共有し、PCから接続する

「MVSプレイヤー」のコンテンツフォルダを共有させます。
ネットワーク上のPCで、エクスプローラーまたはブラウザを起動して、コンテンツフォルダのアドレスを入力します。
詳しくは「[5.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには](#)（50ページ）の手順1～3を参照してください。

2 コンテンツ素材を削除する

コンテンツフォルダ内に格納されているコンテンツ素材を選択して、Deleteキーで削除します。

☞ コンテンツフォルダからコンテンツ素材が削除されます。

5.3 コンテンツ素材の再生に関する便利機能（クイックプレイ）

「MVSプレイヤー」では、コンテンツ素材（動画、静止画、Flashなど）を指定して再生することもできます。

ここでは、USBメモリ、コンテンツフォルダ、PCに格納されているコンテンツ素材の再生方法について説明します。



5.3.1 USBメモリの自動再生

USBメモリ（外部ストレージ）を接続すると、静止画や動画のコンテンツ素材が自動で再生できます。

外部ストレージからの自動再生およびガイダンス表示の設定方法については、「[3.1 システム設定](#)」（30ページ）を参照してください。

お買い上げ時は、ガイダンス表示は「無効」に設定されています。

ここでは、ガイダンス表示を「有効」に設定した場合の操作について説明します。

1 USBメモリを接続する

USB端子にUSBメモリを接続します。

☒ 自動再生用のガイダンスが表示されます。

自動再生用のガイダンスで、[コンテンツのスライドショー]を選択すると、選択したコンテンツ素材から再生します。

[おまかせ表示]を選択すると、USBメモリにあるコンテンツ素材をファイル名順に連続再生します。ここでは、1つのファイルを再生する例を説明します。



FATでフォーマットしたUSBメモリをご使用ください。



ガイダンス表示「しない」の設定の場合は、再生方法が[おまかせ表示]となり、USBメモリにあるコンテンツ素材をファイル名順に連続再生します。

ガイダンス表示項目一覧

ガイダンス表示項目	概要
1つのファイルを表示	[データ選択]画面で選択したコンテンツ素材のみを再生。
コンテンツのスライドショー	[データ選択]画面で選択したコンテンツ素材からフォルダ内のすべてのコンテンツ素材（サブフォルダ含む）をファイル名順に連続再生。
おまかせ表示	USBメモリ内のすべてのコンテンツ素材（サブフォルダ含む）をファイル名順に連続再生。

2 再生方法を選択する

[1つのファイルを表示] をクリックします。

⇒ USBメモリの中身が表示されます。

[1つのファイルを表示]
をクリック

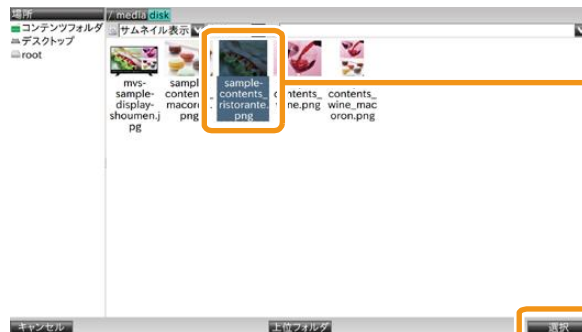


3 再生するコンテンツ素材を選択する

再生するコンテンツ素材を選択して「選択」をクリックします。

➤ 選択したコンテンツ素材が再生されます。

再生する
コンテンツ素材を
選択



[選択] を
クリック



コンテンツの再生を終了して設定メニューに戻るには、**Ctrl+Alt+M** キーを押すか、USB メモリを抜いてください。



一度コンテンツを再生すると、通電が遮断されるまでエンドレスで再生します。



USBメモリを接続しても自動再生しないようにするには、[システム設定] 画面で [外部ストレージからの自動再生] を「無効」に設定します。設定方法については、**「3.1 システム設定」(30ページ)** を参照してください。



5.3.2 USBメモリのマニュアル再生

USBメモリに保存されたコンテンツ素材をマニュアル再生するには、[コンテンツ] 画面で操作します。
特定のコンテンツ素材のみ再生したり、フォルダ内のコンテンツ素材を連続して再生したりすることもできます。
ここでは、コンテンツ素材1つを指定して再生する例を説明します。

1 自動再生を「無効」に設定する

外部ストレージからの自動再生を「無効」に設定します。
設定方法については、「[3.1 システム設定](#)」(30ページ) を参照してください。

2 USBメモリを接続する

USB端子にUSBメモリを接続します。



FAT でフォーマットした USB メモリをご使用ください。

3 [コンテンツ] 画面を表示する

メニューエリアで [コンテンツ] をクリックします。

➤ [コンテンツ] 画面が表示されます。



[コンテンツ] を
クリック

4 データの読込先を選択する

「ファイルを参照」の「選択」をクリックします。

➤ 「データ選択」画面が表示されます。



マニュアル再生時に「フォルダを参照」の「選択」をクリックすると、フォルダ内のコンテンツ（サブフォルダ含む）を連続再生します。

また、「URIを参照」の「再生」をクリックすると、入力したアドレスのコンテンツを再生します。

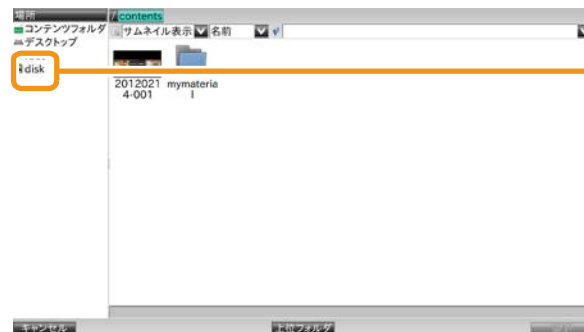


「選択」をクリック

5 USBメモリを選択する

「データ選択」画面左の「場所」から「disk」を選択します。

➤ USBメモリの中身が表示されます。



「disk」を選択

6 再生するコンテンツ素材を選択する

【データ選択】画面で再生するコンテンツ素材を選択して
【選択】をクリックします。

⇒ コンテンツ素材が再生されます。



再生する
コンテンツ
素材を選択

【選択】を
クリック



コンテンツの再生を終了して設定メニューに戻るには、
Ctrl+Alt+M キーを押すか、USB メモリを抜いてください。



一度コンテンツを再生すると、通電が遮断されるまでエン
ドレスで再生します。



5.3.3 コンテンツフォルダのマニュアル再生

【コンテンツ】画面でコンテンツフォルダのコンテンツ素材を直接指定して再生できます。

【ファイルを参照】は、ファイル選択画面で選択したコンテンツ素材（1つ）を繰り返し再生します。

【フォルダを参照】は、ファイル選択画面で選択したコンテンツ素材と同階層およびサブフォルダ内に存在するコンテンツ素材を順番に再生します。

【URIを参照】は、入力したアドレスのコンテンツ素材、またはWebページを表示します。

1 【コンテンツ】画面を表示する

メニューエリアで【コンテンツ】をクリックします。

➤ 【コンテンツ】画面が表示されます。



【コンテンツ】を
クリック

2 データ読込先を選択する

【ファイルを参照】の【選択】をクリックします。

⇒ 【ファイル選択】画面が表示されます。



【フォルダを参照】の【選択】をクリックすると、【ファイル選択】画面が表示されます。また、【URIを参照】の【再生】をクリックすると、入力したアドレスのコンテンツを再生します。



【URIを参照】にはWebページを指定して再生することもできます。



【選択】をクリック

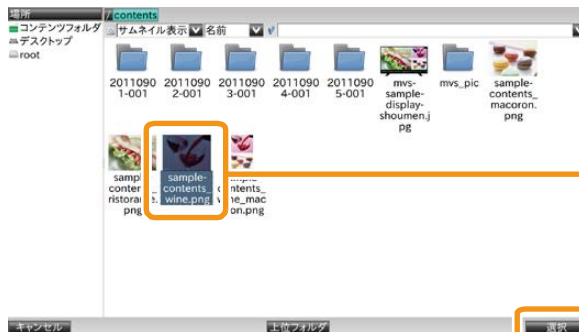
3 再生するコンテンツまたはコンテンツ素材を選択する

再生するコンテンツまたはコンテンツ素材を選択して【選択】をクリックします。

⇒ 選択したコンテンツまたはコンテンツ素材が再生されます。



【フォルダを参照】の場合、選択したコンテンツ素材と同階層およびサブフォルダ内に存在するコンテンツ素材が順番に再生されます。



再生するコンテンツまたはコンテンツ素材を選択

【選択】をクリック

<手順3の続き>



コンテンツの再生を終了して設定メニューに戻るには、
Ctrl+Alt+M キーを押すか、USB メモリを抜いてください。



一度コンテンツを再生すると、通電が遮断されるまでエンドレスで再生します。



5.3.4 PCのコンテンツ素材のマニユアル再生

ネットワークに接続されているPC内のコンテンツ素材を、「MVSプレイヤー」にコピーして再生することができます。そのためには、まず「MVSプレイヤー」がネットワークを使用できる状態にする必要があります。ネットワークへの接続については、「[5.1.1 ネットワークに接続するには](#)」(39ページ)を参照してください。

また、「[5.4.1 「MVSプレイヤー」間でコンテンツをコピーするには](#)」(69ページ)の手順を参考に、別の「MVSプレイヤー」に格納されているコンテンツ素材をコピーすれば、そのコンテンツ素材を再生することもできます。

1 コンテンツフォルダを共有する

コンテンツフォルダの共有は、「[5.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには](#)」(50ページ)の手順1～2を参照してください。

2 コンテンツ素材をPCから「MVSプレイヤー」のコンテンツフォルダへ保存する

PCからコンテンツフォルダへコンテンツ素材をコピーするには、「[5.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには](#)」(50ページ)の手順3～4を参照してください。

3 【コンテンツ】画面を表示する

メニューエリアで【コンテンツ】をクリックします。

⇒ 【コンテンツ】画面が表示されます。



【コンテンツ】を
クリック

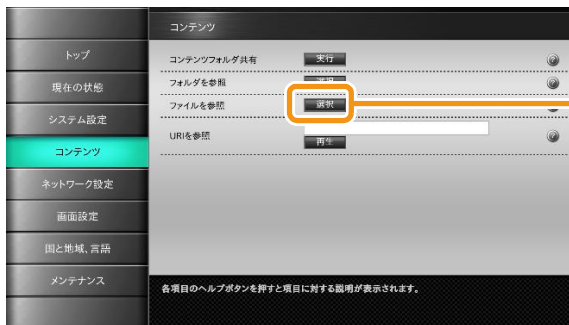
4 データ読込先を選択する

【ファイルを参照】の【選択】をクリックします。

⇒ 【ファイル選択】画面が表示されます。



【フォルダを参照】の【選択】をクリックすると、【ファイル選択】画面が表示されます。また、【URIを参照】の【再生】をクリックすると、入力したURIのコンテンツを再生します。



【選択】を
クリック

5 コンテンツを選択する

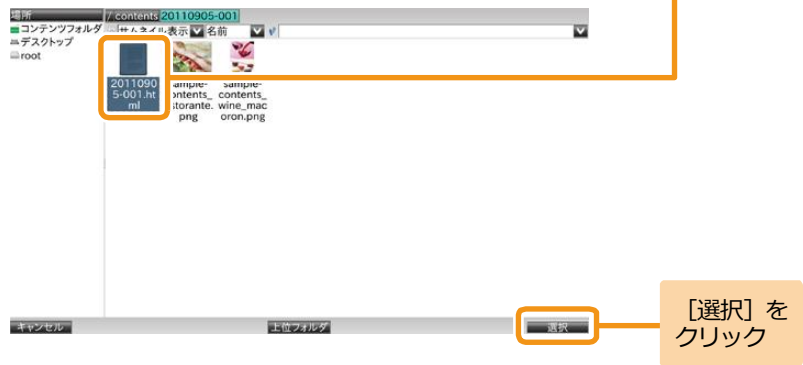
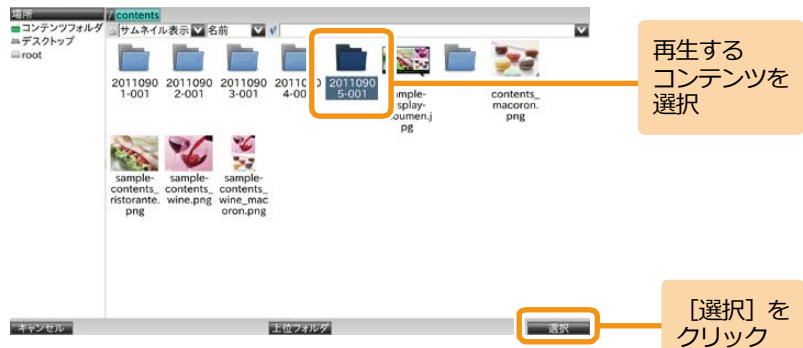
再生するコンテンツを選択し、[選択] をクリックします。



「フォルダを参照」の場合、選択したコンテンツ素材と同階層およびサブフォルダ内に存在するコンテンツ素材が順番に再生されます。

再生するコンテンツ内の「コンテンツ名.html」ファイルを選択して[選択] をクリックします。

⇒ コンテンツが再生されます。



<手順5の続き>



コンテンツの再生を終了して設定メニューに戻るには、
Ctrl+Alt+M キーを押してください。



一度コンテンツを再生すると、通電が遮断されるまでエン
ドレスで再生します。



5.4 コンテンツに関する便利機能

5.4.1 「MVSプレイヤー」間でコンテンツをコピーするには

ネットワーク上に「MVSプレイヤー」を複数台接続している状態で、プレイヤー同士のコンテンツを相互にコピーできます。そのためには、最初にネットワークを使用できる状態にして、各プレイヤーのコンテンツフォルダを共有します。ネットワークに接続したPCから、共有している各プレイヤーのコンテンツフォルダをすべて表示させ、コピーします。

ネットワークへの接続は、「[5.1.1 ネットワークに接続するには](#)」(39ページ)を参照してください。



「複数台の MVS プレイヤー」間でコンテンツをコピーするには、各プレイヤーの【端末名】を区別する必要があります。【端末名】の設定については、「[3.1 システム設定](#)」(30 ページ)を参照してください。

1 コンテンツフォルダを共有する

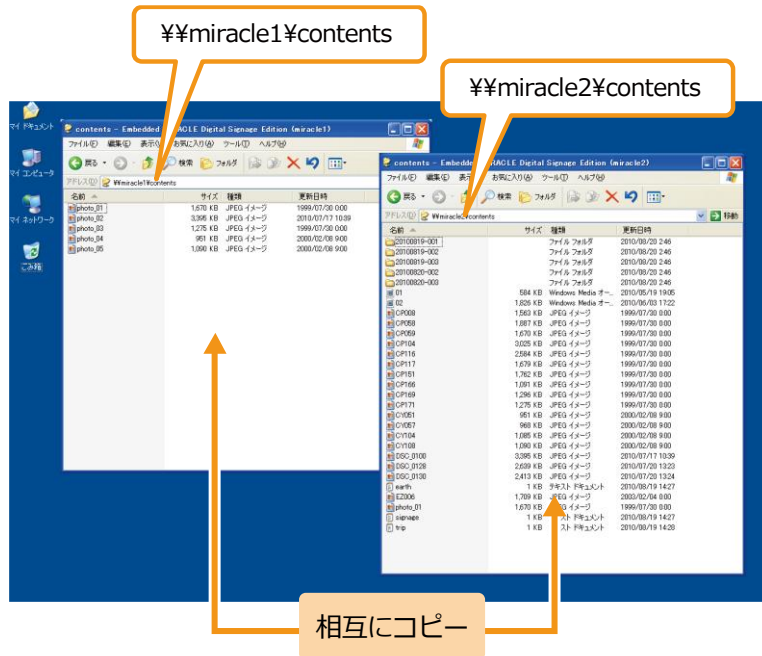
コピーするすべてのプレイヤーのコンテンツフォルダを共有します。コンテンツフォルダの共有は、「[5.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには](#)」(50ページ)を参照してください。

2 PCの画面に共有しているコンテンツフォルダを表示する

共有しているすべてのプレイヤーのコンテンツフォルダを表示させます。

3 フォルダ間でコンテンツをコピーする

表示しているコンテンツフォルダ同士でコンテンツをコピーします。PCから共有しているコンテンツフォルダへのコピー操作については、「5.2.1 「MVSプレイヤー」にコンテンツ素材を保存するには」(50ページ)の手順4を参照してください。



6. その他の情報

「MIRACLE VISUAL STATION」を使用して、疑問点およびトラブルが発生したときのために、「よくある質問」「困ったときには」をまとめました。






ここでは、一般的な質問およびトラブルシューティングを集めました。より詳しい情報を以下のウェブページで公開しておりますので、ご参照ください。
弊社ウェブページ

<https://www.miraclelinux.com/online-service/faq/before-inquiry#mvs>

6.1 よくある質問

質 問	回 答
「互換性のないコンテンツが使用されています」と表示され、コンテンツが再生できない。	コンテンツが古いEMPopMakerで作成されたものでないかを確認してください。 古いEMPopMakerで作成されたコンテンツは、そのままでは再生することができません。対応バージョンのEMPopMakerで一度そのコンテンツを開いてから保存しなおすことで、再生できるようになります。
動画が再生できない。	本製品に対応するファイル形式かどうかを確認してください。 再生できるファイル形式については、「 1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式 」(21ページ)を参照してください。 音声付きH.264動画(拡張子:mov)の場合、拡張子を「m4v」に変更して音声なしで再生してみてください。
静止画が表示されない。	本製品が対応するファイル形式かどうかを確認してください。 再生できるファイル形式については、「 1.5.2 再生できる静止画ファイルの形式 」(22ページ)を参照してください。

質 問	回 答
<p>3分割のコンテンツを作成したが 左側の動画（静止画）が小さく表示される。</p>	<p>コンテンツの作成・編集時、「プロパティ」ダイアログから各フレームのサイズを設定することができます。詳しくは、『EMPpopMaker 簡易操作マニュアル』を参照してください。</p> <p>なお、フレームサイズの指定がない場合、3分割レイアウトのコンテンツでは、右側のフレームの静止画を優先して表示します（下図参照）。フレームサイズを指定しない場合は、右側のフレームには縦長の静止画を指定してください。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>ミラクルビジュアルステーション</p> <p>フレーム2に横長画像を指定した場合 （フレームサイズの指定なし）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ミラクルビジュアルステーション</p> <p>フレーム2に縦長画像を指定した場合 （フレームサイズの指定なし）</p> </div> </div>
<p>コンテンツ再生中にUSBメモリを接続すると どうなる？</p>	<p>システム設定の「外部ストレージからの自動再生」が「有効」となっている場合、再生中のコンテンツを中断し、USBメモリの自動再生に切り替わります。</p> <p>USBメモリを抜くとコンテンツ再生が終了し、メニュー画面が表示されます。</p>
<p>再生できるファイル形式は？</p>	<p>再生できるファイル形式については、「1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式」（21ページ）および「1.5.2 再生できる静止画ファイルの形式」（22ページ）を参照してください。</p>
<p>勝手に再起動した。</p>	<p>自動復旧機能が作動したためです。</p>
<p>どういうときに自動復旧する？</p>	<p>フリーズを検知したときです。万一フリーズしてしまった場合でも、再起動により自動的に復旧します。</p>

質 問	回 答
<p>画像に黒い帯が入る。</p>	<p>コンテンツの縦横比（アスペクト比）を確認してください。 コンテンツの縦横比がディスプレイの設定と一致していない場合、黒い帯が表示されることがあります。 たとえば16:9のワイドディスプレイに4:3の写真を表示させると、写真の両脇に黒い帯が表示されます。</p> 
<p>共有したコンテンツディレクトリの中に、 「.」で始まるファイル、ディレクトリが表示される。</p>	<p>「MVSプレイヤー」で使用するファイルです。削除しないでください。 エクスプローラーですべてのファイルとフォルダを表示するように設定していると表示されます。</p>

6.2 困ったときには

問 題	対処方法
画面表示がおかしい。	<p>ディスプレイと本製品が正しく接続されているかどうかを確認してください。</p> <p>画面設定の「解像度の設定」で「自動」を選択している場合、接続するディスプレイによっては最適でない解像度が選択されることがあります。「解像度の設定」で「選択」を選択して最適の解像度が得られるか試してください。</p> <p>本製品はインターレース方式のディスプレイには対応していません。お使いのディスプレイがインターレース方式かどうかについては、ディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>接続するディスプレイについては、「2.1 用意するもの」(23ページ)を参照してください。</p>
画面の色がおかしい。	<p>ディスプレイと本製品が正しく接続されているかどうかを確認してください。</p> <p>ケーブル接続端子を正しく接続していない場合、接触不良により発色がおかしくなることがあります。</p> <p>ディスプレイの色合いの設定を確認してください。操作方法については、お使いのディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。</p>
画面が真っ暗になる。	<p>ディスプレイと本製品が正しく接続されているかどうかを確認してください。ディスプレイによっては、ディスプレイ電源のオン・オフやケーブルを抜き差しすることで映らなくなる場合があります。本製品の電源を一度切り、ディスプレイと正しく接続した状態で本製品の電源を入れ直すとう改善する場合があります。</p> <p>「画面設定」画面の「解像度の設定」を変更すると改善する場合があります。本製品にUSBキーボードを接続し、画面解像度設定のショートカットキーを試してください。画面解像度の変更が反映されるには時間がかかります。ショートカットキーを押した後は、変更が反映されるまで10秒間ほどお待ちください。ショートカットキーについては、次表の「6.3 画面解像度設定のショートカットキー」(76ページ)を参照してください。</p>

問 題	対処方法
画面の端が切れる。	<p>ディスプレイのオーバースキャンの設定を変更してください。操作方法については、お使いのディスプレイに付属の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>ディスプレイの中には表示にオーバースキャン方式を使用し、表示される画像の周辺部を切り落としているものがあります。メーカーによって「オーバースキャン方式」という用語は変わる場合があります。取扱説明書の中には「PCと接続する」や「Dot by dot」、「アンダースキャン」といった用語で記載されているものもあります。</p>
起動時のロゴ画面が崩れる。	<p>起動時のロゴはVGAという解像度で表示しています。</p> <p>ディスプレイの中にはVGAに対応していないものもありますが、起動完了後にはディスプレイに対応した画面解像度に自動的に切り替わるため問題ありません。</p>
【ファイル選択】画面に外部ストレージメディア（USBメモリなど）の情報が表示されない。	<p>外部ストレージメディアを抜き差ししてください。または、別のUSBポートに接続してください。</p>
音が出ない。	<p>本製品が対応している音声入力端子を持つディスプレイまたはスピーカーに接続しているかどうかを確認してください。音声は、DisplayPort端子またはミニプラグで出力します。</p>
USBメモリが自動で再生されない。	<p>「外部ストレージからの自動再生」(30ページ)が有効かどうかを確認してください。</p> <p>コンテンツ作成・編集・削除中は上記設定にかかわらず、USBメモリを接続しても自動再生は行われません。</p> <p>FATでフォーマットされたUSBメモリを使用しているかどうかを確認してください。</p>
複数台でコンテンツ共有したが、「マイ ネットワーク」に1台しか表示されない。	<p>複数台でコンテンツ共有を行う場合は、システム設定でそれぞれに異なる端末名を設定してください。</p> <p>初期設定では端末名はすべて「miracle」になっています。</p>
動画が再生できない。	<p>「1.5.1 再生できる動画・音声ファイルの形式」(21ページ)を参照し、対応しているコンテナ形式、動画コーデック、音声コーデックを確認してください。</p> <p>音声コーデックが対応していない形式の場合（たとえばAC-3、MP3など）、音声なしの動画だけ再生できる可能性があります。拡張子を音声なしのものに変更して再生を試してみてください。</p>
コンテンツが保存できない。	<p>コンテンツフォルダの残容量が少なくなっていると思われます。ファイルを削除してリトライしてください。</p>

6.3 画面解像度設定のショートカットキー

解像度（長辺×短辺）	リフレッシュレート	ショートカットキー
640×480	59.94 Hz	Ctrl+Alt+Shift+0
720×480	59.94 Hz	Ctrl+Alt+Shift+1
1280×720	59.94 Hz	Ctrl+Alt+Shift+2
1920×1080	59.94 Hz	Ctrl+Alt+Shift+3
720×480	60 Hz	Ctrl+Alt+Shift+4

解像度（長辺×短辺）	リフレッシュレート	ショートカットキー
1280×720	60 Hz	Ctrl+Alt+Shift+5
1920×1080	60 Hz	Ctrl+Alt+Shift+6
640×480	自動判定	Ctrl+Alt+Shift+V
自動判定	自動判定	Ctrl+Alt+Shift+A

MIRACLE VISUAL STATION 取扱説明書

ver.4.1.11

MIRACLE LINUX の名称およびロゴは、サイバートラスト株式会社の登録商標です。

Linux[®]は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Adobe、Flash、Adobe Flash Player は米国 Adobe Systems Incorporated の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他記載された会社名、商品名等は各社の登録商標または商標です。

本製品には Fluendo 社提供のソフトウェアや、オープンソースのソフトウェア、フォント、Microsoft 社の Windows SDK コンポーネントが含まれています。

ソフトウェアの著作権などに関する情報は以下を参照ください。

<https://www.miraclelinux.com/online-service/download/manual/docs/dse-license>

